

3つの案件について、全員協議会を開催

全員協議会を次のとおり開催しました。

(1) 議会基本条例について（8月4日）

市議会のあり方の基本を定め、議会改革の内容を明文化する議会基本条例について、9月定例会での提案に向けた最終確認を行いました。

(2) 第2次糸魚川市総合計画について（8月10日）

5月と6月に行った全員協議会での意見を反映した基本構想案及び基本計画案について確認をしました。

(3) 権現荘について（8月12日）

平成28年3月に予算審査特別委員会で指摘を受けた権現荘の経営管理状況等、指定管理者選定委員会の検証結果について、行政側からの説明を受け、質疑を行いました。



全員協議会の様子（8月12日）

全員協議会とは…市政又は議会運営に関する事項について協議又は調整するために、議員全員が出席して開かれる会議です。



笠原 幸江
議員

質問

高速道路に架かる跨道橋修繕（撤去含む）計画について

平成28年1月現在、当市は市道橋531橋、農道橋28橋、林道橋41橋、合計で600橋を管理し、計画的に点検や工事の実施を行っている。さらに、財政負担の軽減、平準化による財政見直しの観点から、当市の最上位計画である「総合計画」との整合を図る中で進められているところであるが、特に高速道路に架かる跨道橋は、高速道路の建設により分断された既存の道路等施設の機能補償のために高速道路管理者が設置すると同時に市に移管され管理しているが、16か所の修繕計画にどのように反映されているか。また財政計画はどのようにになっているか。

- (1) 供用開始から30年、コンクリートの寿命は大丈夫か。
- (2) 定期点検はどのように行っているか。

- (3) 現在、使われる頻度の少ない跨道橋は、今後どのように取り扱うか。
- (4) 国からの財源確保はどのようにになっているか。
- (5) 各地区の該当する関係者への周知はどうか。
- (6) 高速道路跨道橋の基金積立て準備が必要と考えるが、いかがか。

▼市長答弁

- (1) これまでの点検結果から一部に老朽化が見られるが、当面は大きな問題がないと考えている。
- (2) 新潟県橋梁定期点検要領に基づき、目視点検を行っている。
- (3) ライフラインの設置状況や橋梁本体の老朽化を考慮し、将来的には撤去についても検討していく。
- (4) 国土交通省と農林水産省の交付金や過疎債等の優良債により財源確保に努めていく。
- (5) 橋梁長寿命化修繕計画について関係地区に説明するとともに、定期点検や詳細調査等の結果により、撤去を含む修繕計画が具体化したら、改めて関係地区と協議していく。
- (6) 公共施設の改修及び整備などに充てることを目的に、平成27年度から公共施設等総合管理基金を設置している。